

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月5日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,981	△32.3	△7	—	△8	—	△32	—
2020年3月期第3四半期	8,830	40.6	690	128.4	667	137.1	421	159.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 18百万円(△96.1%) 2020年3月期第3四半期 475百万円(258.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△33.28	—
2020年3月期第3四半期	435.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,030	7,170	51.1
2020年3月期	15,857	7,219	45.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,170百万円 2020年3月期 7,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	△31.7	157	△86.2	137	△87.6	85	△87.4	87.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,012,000株	2020年3月期	1,012,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	44,426株	2020年3月期	44,426株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	967,574株	2020年3月期3Q	967,582株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第3四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初深刻な状況におかれましたが、政府による資金繰りや雇用支援の下支えと各種需要喚起政策のもと、経済活動は持ち直しつつあると認められる状況にあります。先行きにつきましては、ワクチン接種による感染症の収束が期待されるものの、足元の感染症再拡大を受け企業業績の急回復は見込めず、「ウィズコロナ時代」とも呼ばれる環境下、新たな社会と事業の在り方を模索しつつ、経済回復に向けた行動を求められております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、感染症対策として営業部門や管理部門については在宅勤務環境の整備を進め、生産部門など工場についても感染リスク軽減を最優先しつつ、引き続きお客様に満足される製品・サービスの提供により、安心・安全な社会の維持に貢献するべく事業活動を行っております。

その結果として、売上高は5,981百万円（前年同期比32.3%減）、営業損失7百万円（前年同期比は営業利益690百万円）、経常損失8百万円（前年同期は経常利益667百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円（前年同期は四半期純利益421百万円）となりました。

売上高は、前期にありました消防・防災事業のオリンピック向け等資機材案件が当期にはなかったことから大幅減収となりました。新型コロナウイルス感染症の影響については、第1四半期に開示しましたとおり、不動産賃貸事業において緊急事態宣言に基づく商業施設等の休業要請を受け、テナントへの賃料減額を実施し約10百万円の減収があったものの、7月以降、売上高へ直接的な影響を及ぼす事象はありません。

利益面では、新型コロナウイルス感染症への対応の結果として、移動や会議に伴う費用など販売費及び一般管理費全般が減少したものの、全ての事業セグメントにおける売上高の減少と、受注減に伴う生産高の低下により固定費を吸収することができず利益率が低下し、「高」と「率」の両面から減益となっております。各段階損益において損失計上という結果となりましたが、第3四半期までの損益は概ね会社の計画どおりに推移しております。なお、消防・防災事業では、顧客予算との関係から売上高は下期に集中する傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

前年同期と比べ特殊車両の販売増はあったものの、オリンピック向け等の資機材の案件は大幅に減少し、売上高2,710百万円（前年同期比50.2%減）となりました。利益面では、利益率の良い案件の減少により、セグメント損失（営業損失）は34百万円（前年同期は635百万円のセグメント利益）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、在来機向け補用品の販売が増加したものの、官需大型機や宇宙分野向けの販売が減少しました。工業用品では、タンクシールや子会社取り扱いの製造設備用金属加工部品の販売が順調に推移しているものの、発電所向け絶縁ホースや子会社取り扱いの油圧ホース販売が減少しております。利益面では、前期からの固定費吸収力の低下が製造原価を上昇させており、その結果、売上高は2,903百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は206百万円（前年同期比34.7%減）となりました。

<不動産賃貸事業>

前年度第3四半期から事業に組み入れた賃貸不動産による増収効果はあるものの、新型コロナウイルス感染症への対応として、商業施設への休業要請にご協力いただいたテナントへの賃料減額を実施した結果、売上高は367百万円（前年同期比1.0%減）、利益面では、修繕費が減少し、セグメント利益（営業利益）96百万円（前年同期比169.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間における流動資産は9,063百万円（前連結会計年度末比2,025百万円減）となりました。主として、現金及び預金が559百万円、たな卸資産が252百万円それぞれ増加した一方、売上債権回収により受取手形及び売掛金が2,894百万円減少したことによるものです。また、固定資産は4,966百万円（前連結会計年度末比198百万円増）となりました。主として有形固定資産の取得によるものです。

この結果、資産合計は14,030百万円（前連結会計年度末比1,827百万円減）となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間における流動負債は4,003百万円（前連結会計年度末比1,893百万円減）となりました。主

として、支払手形及び買掛金が1,621百万円、未払法人税等が311百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定負債は2,856百万円（前連結会計年度末比115百万円増）となりました。

この結果、負債合計は6,859百万円（前連結会計年度末比1,778百万円減）となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産は7,170百万円（前連結会計年度末比48百万円減）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円と剰余金の処分67百万円による減少が要因であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2020年5月26日に公表いたしました通期の業績予想の内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,493,969	3,053,598
受取手形及び売掛金	4,885,664	1,991,230
電子記録債権	783,201	593,517
商品及び製品	326,609	385,058
半製品	593,578	667,577
仕掛品	1,316,680	1,429,944
原材料及び貯蔵品	621,978	628,909
その他	73,486	316,240
貸倒引当金	△5,657	△2,528
流動資産合計	11,089,509	9,063,548
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,790,941	1,735,299
土地	1,676,278	1,797,208
その他（純額）	492,989	618,255
有形固定資産合計	3,960,208	4,150,763
無形固定資産	11,904	11,664
投資その他の資産		
投資有価証券	233,081	261,367
その他	562,872	542,967
投資その他の資産合計	795,953	804,335
固定資産合計	4,768,066	4,966,762
資産合計	15,857,576	14,030,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,874,295	1,252,981
短期借入金	1,000,000	1,320,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	561,893	594,136
未払法人税等	316,808	5,151
賞与引当金	285,655	106,462
役員賞与引当金	70,000	50,250
その他	747,938	634,130
流動負債合計	5,896,590	4,003,111
固定負債		
社債	320,000	300,000
長期借入金	1,201,480	1,375,409
役員退職慰労引当金	222,922	203,114
退職給付に係る負債	732,688	708,736
資産除去債務	12,277	12,488
その他	251,881	256,713
固定負債合計	2,741,249	2,856,461
負債合計	8,637,840	6,859,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	6,832,872	6,732,940
自己株式	△173,443	△173,443
株主資本合計	7,450,860	7,350,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,379	73,732
退職給付に係る調整累計額	△285,503	△253,922
その他の包括利益累計額合計	△231,124	△180,190
純資産合計	7,219,735	7,170,737
負債純資産合計	15,857,576	14,030,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	8,830,241	5,981,244
売上原価	6,699,145	4,672,532
売上総利益	2,131,095	1,308,711
販売費及び一般管理費	1,440,995	1,315,918
営業利益又は営業損失(△)	690,100	△7,206
営業外収益		
受取利息	27	17
受取配当金	7,971	7,872
受取地代家賃	8,862	9,763
為替差益	—	6,149
貸倒引当金戻入額	1,724	3,129
その他	6,970	6,142
営業外収益合計	25,555	33,074
営業外費用		
支払利息	31,570	30,598
社債利息	678	625
為替差損	1,788	—
その他	14,092	2,864
営業外費用合計	48,130	34,088
経常利益又は経常損失(△)	667,524	△8,220
特別損失		
固定資産除売却損	12,768	564
特別損失合計	12,768	564
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	654,756	△8,785
法人税、住民税及び事業税	186,276	20,983
法人税等調整額	46,788	2,432
法人税等合計	233,064	23,416
四半期純利益又は四半期純損失(△)	421,691	△32,201
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	421,691	△32,201

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	421,691	△32,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,629	19,352
退職給付に係る調整額	31,970	31,581
その他の包括利益合計	53,599	50,934
四半期包括利益	475,291	18,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475,291	18,732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,443,441	3,015,285	371,514	8,830,241	—	8,830,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	947	5,616	6,563	△6,563	—
計	5,443,441	3,016,232	377,130	8,836,804	△6,563	8,830,241
セグメント利益	635,707	316,408	35,636	987,753	△297,653	690,100

(注) 1 セグメント利益の調整額△297,653千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,710,497	2,903,127	367,619	5,981,244	—	5,981,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,394	5,394	△5,394	—
計	2,710,497	2,903,127	373,013	5,986,638	△5,394	5,981,244
セグメント利益又は損失(△)	△34,476	206,580	96,106	268,211	△275,417	△7,206

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△275,417千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。